

# 町報 てんのう

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135  
編集・企画室 印刷・一日市印刷所 TEL(018875)2038

町のうごき	
本籍数	4,299
本籍人口	14,521
世帯数	2,955
住民登録人口	13,484
内 男	6,632
女	6,852
12月1日現在	

## 新春を迎えて

天王町長 藤原慶三郎

町民の皆さん、明けましておめでとうございます。輝かしい昭和四十五年の新春を迎え、皆さんとともに心からお喜び申し上げます。



本町においては町長選挙が行なわれ、町民多数のご支援を得て再び首長の座を得、町政を担当できましたことは何よりも喜ばしく、町民各位に心から感謝申し上げますとともに、本町のおかれて

昨年 是激動 する社 会にな かにあ っ、 本町におい 決意を新らたにして、こん身の 努力をいたす覚悟です。 また、安保改正の前年、沖繩 本土なみ返還等波乱に満ちた中 に佐藤首相の訪米後、国民の真 意を問う国会解散、外交、大学 問題、総合農政施策の確立等内 外共に幾多未解決の難問をかか えつつ古き年を送り、いま、新 らたな試練の年を迎えるに当 り、感慨またひとしおであります。

ん考慮いたし、郷土開発のため 等が打ち出され、食糧制度堅持 の途はきびしく、農業を主体と する本町の所得にも大きな影響 があり、あまりにも急激な政策 の転換に農家各位がとまどいつ つある現状を見る時、

特に、稲作を中心とした農業 問題は大きくゆれ、米価のすえ おきをはじめ、

- ① 割減反
- ② 作付け転換
- ③ 買入れ制限

等、統計的に見る時、米の余剰 は当然おこる現象であり、それ を察知しなかつたのは明らかに 政策の失敗であるにもかかわら ず、その責任を農家に転嫁する 態度や今後の進むべき方向すら 明示せず、政府の施策に従わな ければ食糧制の維持は困難であ るという、農民の声を反映しな い、一方的な施策に対しては、 行政を担当する責任者として、 いささか抵抗を感じるものであ ります。

- ④ 技術の進歩
- ⑤ 需給関係

しかしながら、時代の流れや、 農業行政の転換に際しては、今 後国の方針をじゅうぶん検討の うえ、各種産業団体と密接な連 携をとりつつ、これに対処いた す覚悟です。

払い下げによる町営住宅の増設 等、人づくりの根源である教育 行政の充実、町づくりの基本と なる道路網の整備、住宅対策 等、他町村より常に一歩先んじ て実施いたし、いかにすれば住 民へのサービスが徹底するかを 念頭におきつつ、心をこめて町 政に取り組んでおります。

千名以上に拡大する計画を有す る有望会社で、地域開発に果た す役割はきわめて大きく、町と しても環境整備等に協力いたし たいと考えております。

さらに昭和四十三年度決算は 単年度約六百五十二万八千円の 赤字であります。通算約一千 五百二十八万一千円の赤字であ ります。

今こそ昭和六十年の町づくり の基礎をかためるべき大切な時 期であります。

乏しい財政ではありますが、 町民の血税であることを心に銘 記し、常に人件費及び冗費の節 約を第一として、目標と計画を たて、財政を効果的に投下運用 しており、余談ではございます が、秋田県六十四町村の中で町 村長の乗用車のないのは本町た だひとつです。私は自ら節約す べきは節約いたし、補助、起債 等に関しては思い切つて立ち向 かい、この獲得にあたっており ます。

十年後、二十年後の天王町は 飛躍的に発展します。また、さ せなければなりません。

このように多くの町事業を完遂 しつつ、なおかつ健全財政を堅 持し得ましたことも議会や職員 をはじめ、町民各位の町施策、 町税に対するご理解、ご協力の たまものと心から感謝申し上げ る次第であります。

私は、常に自己の名を惜しみ つつ、郷土愛の一念に燃え、積 年の弊を打破し、明るく豊かな 町づくりのため、正義感と勇氣 を持つて懸命の努力をいたし、 町民とひさぎを交え、町民の声 を聞き、町民と直結した行政を行 ない、町民のご期待にこたえる 覚悟です。

- ① 天王小学校改築
- ② 東湖小学校プール建設
- ③ 大崎地区道路基盤整備
- ④ 老人ホーム設置

年頭にあたり、所感の一端を 述べ、町民各位のご健康とご協 力を祈りつつ、決意を新たに 町発展のため希望に満ちた明る い年にしたいと思っております。

湖岸住民待望の二田大崎、 天王間の基幹道路の完全舗装、 下出戸三枚橋間(約千六百メ ートル)の農道舗装、追分小改 築、天王幼稚園、天王保育所、 幼児プールの新設、農林省住宅

また、四十四年度誘致いたし ましたアキタ電子(株)は日立 系列会社で、投下資本約五億 円、従業員約二百五十名で操業 し、トランジスタ関係部品を 製作しております。今年四月に は四百名にふえ、将来は従業員



# 年頭に当って

天王町議会議長 米谷多一郎



七十年代の日本の新らしい歴史を築き、か

方向をうらなう総選挙もそれぞ

しかしながら昨年を回顧する

昨年年度、町においてはいろいろ

# 年頭所感

天王町教育委員長 藤原慶一郎



町民の皆さん、新年おめでとうござい

ご家族をそろってお元気で新し

幼児教育、学校教育および社会

立二、保育所三において行なわ

二田駅前広場、追分、天王ノ塩

また、今年は大崎野沢地区の延

町勢進展のため、ひいてはわが

昨年度においては、追分小学



天王町農業委員長 佐藤栄蔵

# 七十年を迎えて

農家の皆さん明けましておめ

昨年、春以来の悪天

農家の皆さんの代表として信任

# 年頭の辞

天王町消防団長 藤原吉治郎

明けましておめでとうござい

世の文化生活にともなつて、

私達教育委員会は全知全能を

よろしく皆さんのご協力をお願い

本年はいろいろな意味におい

原因になりなす。

市八町村の消防団で結成されて

# 十二月 定例議会開かる

十二月定例議会は十二月十五日開会。会期を十五日、十六日の二日間としたあと町長報告、一般質問が行なわれた。

続いて上程された、一般職の給与に関する条例の一部改正案のほか八案件が提案され、それぞれ原案どおり可決して二日目の十六日閉会した。

原案可決されたおもな案件

▽天王町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

これは人事院勧告による。国家公務員の給与改定に準じて、町議会議員の期末手当支給分「百分の二百二十」を「百分の二百三十」に改正するもの。

▽天王町一般職の職員給与に関する条例の一部改正について

（同）桜庭進（同）【第八分団】加賀谷恵一郎（同員）【第十一分団】目黒吉之助（同員）

## 8日に出ぞめ式 ◇41名を表彰◇

定した。  
表彰者は次のとおり。

### 知事表彰

恒例の天王町消防団出ぞめ式は一月八日午前十時三十分から町公民館で行なわれる。この式では第八分団の桜庭喜八郎分団長ら四十一名が晴れの表彰を受けることにこのほど内

- 【有功章】第八分団 桜庭喜八郎（分団長）
- 【三十年勤続章】天王町消防団 菊地貞蔵（副団長） 菊地福治郎（同） 第六分団 安田善太郎（分団長） 第七分団 桜庭喜八郎（分団長）
- 【二十年勤続章】第二分団 柏崎四郎（同員） 第五分団 吉田兼広（同員） 第七分団 桜庭久米太郎（班長）
- 【十年勤続章】第三分団 武田竹広（同員） 第四分団 菊地鉄四郎（同員） 菊地金美（同） 第七分団 佐藤金三郎（同員） 石川久米雄（同） 桜庭清悦（同） 第八分団 佐々木松雄（同員） 第十分団 渋谷政雄（同員） 渋谷茂一（同） 渋谷貞雄（同）
- 【男鹿南秋支部長表彰】第三分団 伊藤清太郎（同員） 第七分団 佐藤幸孝（同員） 桜庭岩春（同） 桜庭一明
- 【七年勤続章】第三分団 伊藤清太郎（同員） 第七分団 佐藤幸孝（同員） 桜庭岩春（同） 桜庭一明

### 第一回部落づくり

#### 研究会開催

社会変化のはげしい都市近郊農村として「だれでもが住んでみたくなるような町づくり」の方向を確立するために、県新生活協議会と町公民館の共催で十二月十九日第一回部落づくり研究会が町公民館において、部落会役員や分館役員ら多数参加して行なわれた。

これは人事院勧告による。国家公務員の給与改定に準じて行なわれるもので通勤手当の増額また、期末手当、勤勉手当などの支給分を改正するもの。

▽一般会計補正予算は二千五百七十一万七千円が追加され、四十四年度予算総額は二億八千七百一十一万三千円となった。

追加の主なものには人件費と追加分小学校運動場拡張整備事業費スポーツ少年団育成費などとなっている。

（同）桜庭進（同）【第八分団】加賀谷恵一郎（同員）【第十一分団】目黒吉之助（同員）

【優良団員】

- 【第一分団】渡辺欽也（同員）
- 【第二分団】石黒勝美（同員）
- 【第三分団】石黒勝美（同員）
- 【第五分団】三浦基勝（同員）
- 【第七分団】桜庭良一（同員）
- 【第十二分団】大貫金一郎（同員）

【男鹿分会長表彰】

- 【天王町消防団】鈴木吉美（運転手）
- 【第九分団】渡部喜美雄（同員）
- 成田勇三（同）
- 菅原敏雄（同）

【消防施設整備強化協力者】

- 三浦重治（大崎）
- 伊藤敬太郎（江川）
- 鎌田哲美（蒲沼）

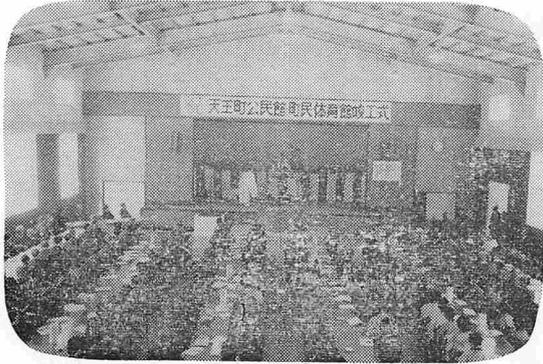
会では、まず児玉助役が「天王町の現状と町づくりの課題について」説明したあと、四つの分科会にわかれて「部落における各団体の連携のあり方と部落づくり活動のすすめ方」を二時間半にわたって話し合い、全体会で各分科会の話し合った結果を報告し合った。

全体会終了後、県新生活協議会の藤田秀司氏が、これに関連して講演を行ない、参加者たちは真剣な表情で聞き取っていた。

# 謹賀新年

天王町役場	天王町監査委員	天王町固定資産 評価審査委員会	天王町選挙 管理委員会	天王町議会	天王町公民館	天王町消防団	天王町教育委員会	天王町農業委員会
町長 藤原慶三郎	委員長 児玉良之助	委員長 児玉良之助	委員長 鎌田悦郎	議長 米谷多一郎	館長 三浦重春	団長 藤原吉治郎	委員長 藤原慶一郎	委員長 佐藤栄蔵
助役 児玉孝之助	委員 佐々木吉太郎	委員 船木助太郎	職務代理 安田慶太郎	副議長 三浦重春	副館長 渋谷仁太郎	副団長 伊藤武一郎	職務代理 西村鐘三	職務代理 安田亦六
収入役 伊藤清之助			職務代理 菊地栄治郎	議員 京谷仁太郎	議員 渋谷重助	議員 菊地貞蔵	議員 三浦兼吉	議員 古山良蔵
企画室長 大関与五郎			委員 渡部泰三	議員 渡部重助	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
総務課長 船木雷治			委員 渡部一	議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
税務課長 安田銀雄				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
町民課長 石黒兼造				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
経済課長 大関良作				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
建設課長 山寺富治				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
伊藤 邦夫				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
船木 音吉				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
菅生 春司				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
中村 政雄				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
高橋 留吉				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
事務局長 渋谷健蔵				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
安田寅五郎				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
石黒 俊蔵				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
三浦利三郎				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
渡部 新一				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
伊藤 邦夫				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
船木 音吉				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
菅生 春司				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
中村 政雄				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
高橋 留吉				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
事務局長 渋谷健蔵				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
安田寅五郎				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
石黒 俊蔵				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
三浦利三郎				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝
渡部 新一				議員 渡部一	議員 渡部政治	議員 渡部政治	議員 三浦兼吉	議員 三浦義勝

町民待望の公民館と体育館が1月31日完工。  
3月1日の竣工式には、全町民の祝福をうけた。

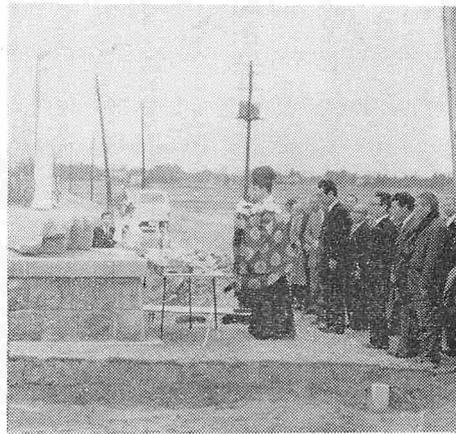


本町が誘致した秋田セイヨー電気の工場落成記念式典が1月13日、同工場に県知事代理、町長など来賓関係者多数が出席して盛大に行なわれた。

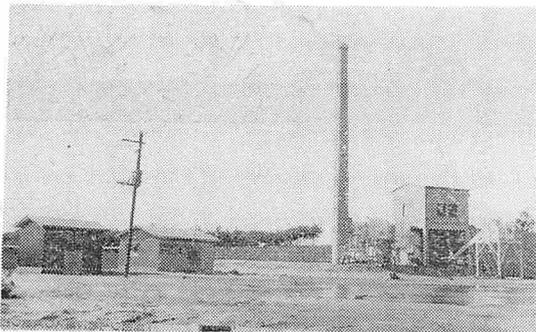
# 写真で見ると 一九六九



「天王町交通指導隊」が5月1日に発足、8人の隊員は交通指導や事故防止に活躍している。



塩口北野へ大崎へ羽立へ中羽立へ塩口の各部落を一巡する延長四八六・七メートル、幅六・五メートルの農免道路が完工。三月二十九日記念碑の除幕式を行なった。

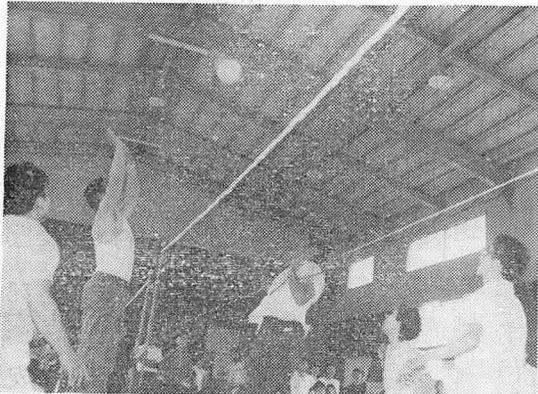


5月30日に完工式をなつたゴミ焼却炉が6月1日から操業。これは1日10トンの処理能力をほこるもので、現在は1日平均6トンのゴミを処理している。

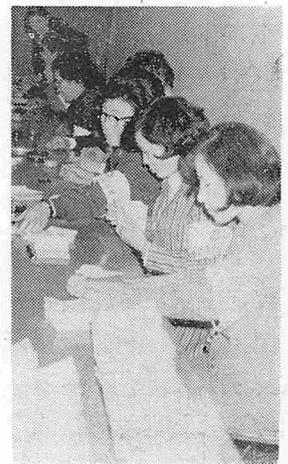


県実施の「農村婦人健康相談室」は七月四日上出戸地区、十二日に大崎地区で行ない、一六九人が受診し、異常者が一〇八人と半数以上だった。

任期満了による町長選挙および、町議ひとりの補欠選挙は四月二十日に投票が行なわれた。

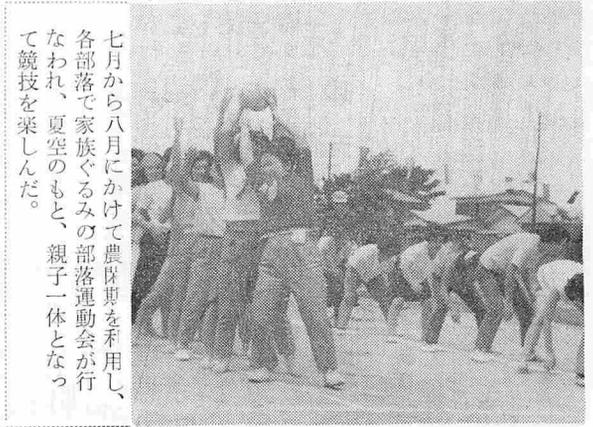


7月の家庭の日の20日、第12回家庭バレーボール大会が町民体育館と天中体育館の両会場で行なわれ、二田新町（夫婦）、上出戸（主婦）が優勝した。

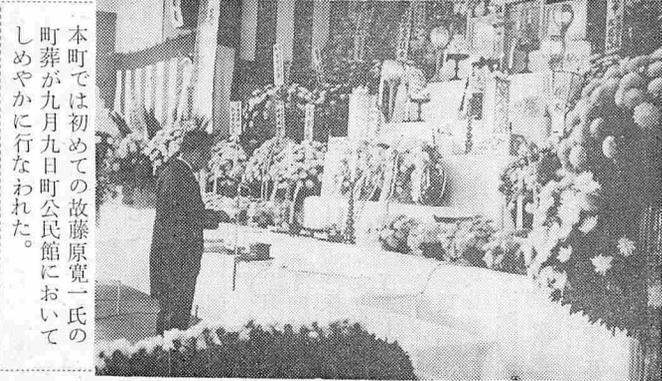




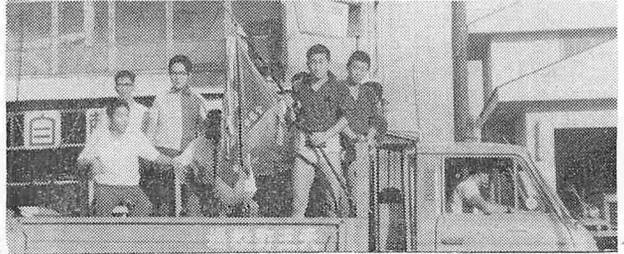
「新成人」の門出を祝う町成人式がお盆の八月十五日町公民館で行なわれた。キャンペーンファイヤーでは、ギターをひき、歌を歌い、楽しく過ごした。



七月から八月にかけて農保野を利用し、各部落で家族ぐるみの部落運動会が行なわれ、夏空のもと、親子一体となって競技を楽しんだ。



本町では初めての故藤原寛一氏の町葬が九月九日町公民館においてしめやかに行なわれた。



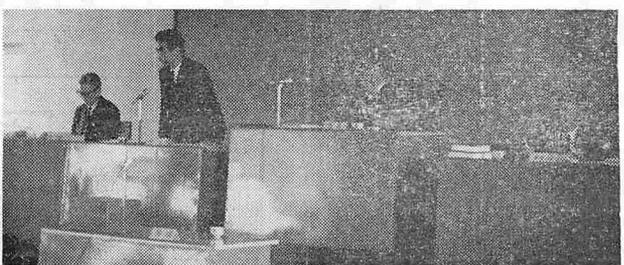
7月31日に行なわれた全県中学相撲大会で天王中学校が3回目の全県優勝を遂げ、同日全町祝賀パレードを行なった。



本町初の功労者に二田是儀氏ら二十六名が決まり、表彰式は十一月七日町公民館で行なわれた。



「ナガイギしてエガッタナア」敬老会は九月十一日町公民館においておじいさん、おばあさん三百人が出席してなごやかに行なわれた。

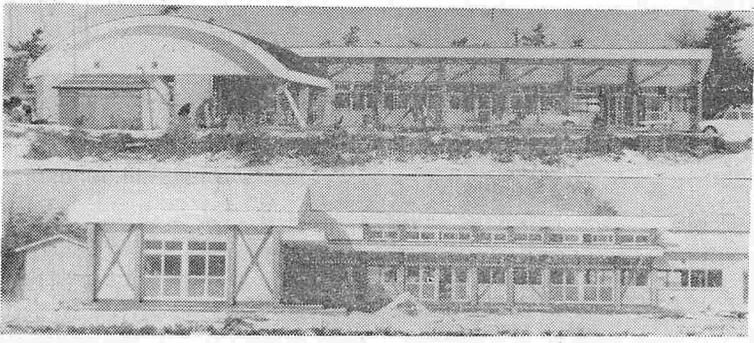


11月20日、43年度決算を審議する臨時議会が開かれた。一般会計は15,281,000円の黒字となった。



十一月三日、第十八回町政施行記念駅伝大会で天王チームが初優勝した。

第四回「天王町産業祭」は農産物など九二一点を集めて、十一月五日から三日間、町公民館を会場に公民館の文化祭と合わせて行なわれ、延べ一万人の参観者でにぎわった。



八月二十日から工事に取りかかっていた町立幼稚園と保育所は十二月十日に完工した。竣工式は十二月二十日新保育所において盛大に行なわれた。



幼稚園(上) 保育所(下)

